

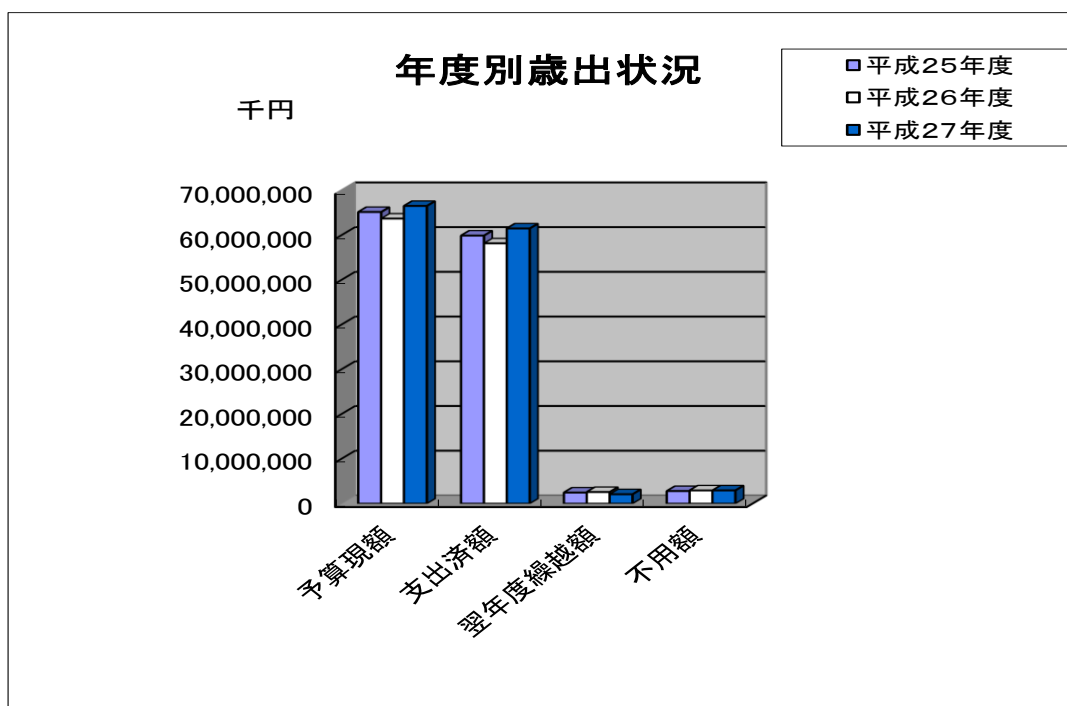
### (3) 歳 出

#### ① 概 況

平成 27 年度一般会計歳出決算額は 61,519,851 千円で、翌年度繰越額 2,093,212 千円、不用額 2,946,624 千円を生じている。予算現額 66,559,687 千円に対する執行率は 92.4% (前年度 91.3%) となっている。これを前年度の支出済額と比較すると 3,327,054 千円 (5.7%) の増加となっている。

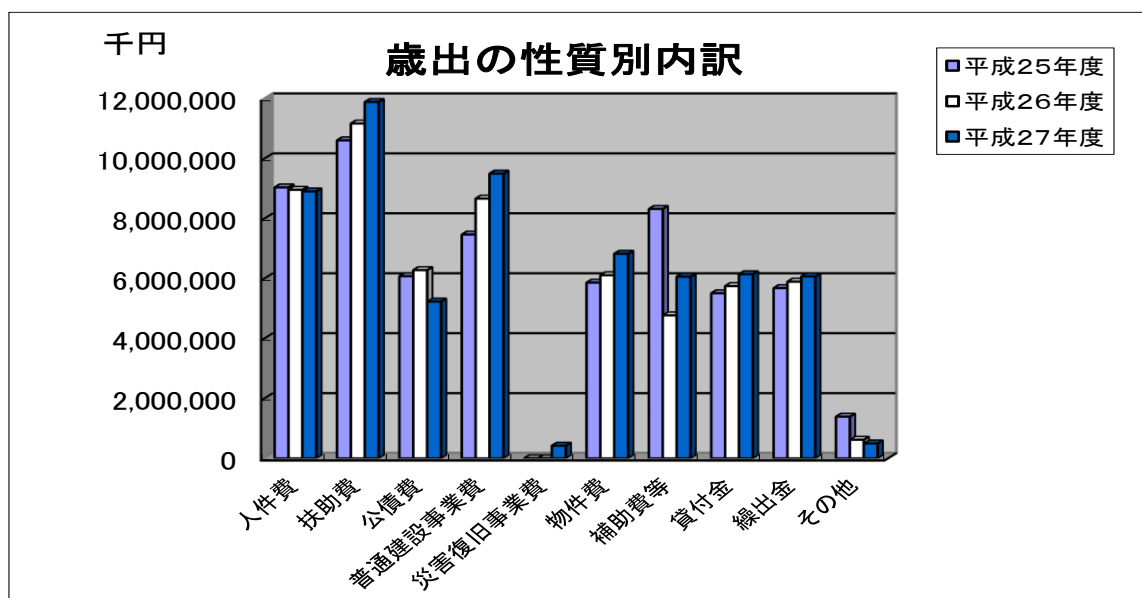
(単位 千円・%)

| 区 分         | 平成27年度     | 平成26年度     | 平成25年度     |
|-------------|------------|------------|------------|
| 予 算 現 額     | 66,559,687 | 63,724,581 | 65,201,811 |
| 支 出 済 額     | 61,519,851 | 58,192,797 | 59,930,983 |
| 翌 年 度 繰 越 額 | 2,093,212  | 2,588,837  | 2,470,939  |
| 不 用 額       | 2,946,624  | 2,942,947  | 2,799,889  |
| 執 行 率       | 92.4       | 91.3       | 91.9       |



(単位 千円・%)

| 区 分     | 平成 2 7 年 度 |       | 平成 2 6 年 度 |       | 平成 2 5 年 度 |       |
|---------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
|         | 金 額        | 構 成 比 | 金 額        | 構 成 比 | 金 額        | 構 成 比 |
| 人 件 費   | 8,904,419  | 14.5  | 8,956,908  | 15.4  | 9,036,294  | 15.1  |
| 扶 助 費   | 11,885,068 | 19.3  | 11,167,327 | 19.2  | 10,606,371 | 17.7  |
| 公 債 費   | 5,229,174  | 8.5   | 6,277,248  | 10.8  | 6,075,844  | 10.1  |
| 普通建設事業費 | 9,496,587  | 15.4  | 8,662,910  | 14.9  | 7,463,155  | 12.4  |
| 災害復旧事業費 | 420,025    | 0.7   | 0          | 0.0   | 0          | 0.0   |
| 物 件 費   | 6,822,483  | 11.1  | 6,107,431  | 10.5  | 5,859,037  | 9.8   |
| 補 助 費 等 | 6,058,397  | 9.9   | 4,767,557  | 8.2   | 8,317,193  | 13.9  |
| 貸 付 金   | 6,140,548  | 10.0  | 5,744,298  | 9.9   | 5,506,344  | 9.2   |
| 繰 出 金   | 6,067,071  | 9.9   | 5,891,241  | 10.1  | 5,677,582  | 9.5   |
| そ の 他   | 496,079    | 0.7   | 617,877    | 1.0   | 1,389,163  | 2.3   |
| 合 計     | 61,519,851 | 100.0 | 58,192,797 | 100.0 | 59,930,983 | 100.0 |



#### ア 予算の補正

予算現額のうち 3,990,850 千円 (6.0%) が増額補正されている。増額補正の主なものは総務費の災害対策費 (災害応急対策事業費)、民生費の社会福祉総務費 (年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費・国民健康保険特別会計繰出金)、土木費の土地区画整理費 (土地区画整理組合貸付事業費)、災害復旧費の公共土木施設災害復旧費 (公共土木施設災害復旧事業費) 等である。

また、減額補正の主なものは衛生費の保健衛生総務費 (小山広域保健衛生組合負担金)、農林水産業費の農地費 (基盤整備促進事業費)、商工費の工業振興費 (金融対策事業費)、土木費の道路新設改良費 (社会資本整備総合交付金事業 [都市再生整備計画事業]) 等である。

イ 予算の計画的執行

予算の執行にあたっては、予算配当に基づき概ね計画的な予算管理がなされたものと認められた。

ウ 予算の流用

当年度の予算の流用は 43 件、123,623 千円(26 年度 31 件、29,128 千円、25 年度 39 件、51,513 千円)である。状況の変化に対応するため必要になったものであり、やむを得ないものと認められ、流用禁止事項に該当するものはなかった。

エ 予備費の充用

当年度は、予備費の充用はなかった(前年度 3 件、8,956 千円)。

オ 予算の繰越

翌年度繰越額は 2,093,212 千円で、継続費 2 件、繰越明許費 20 件である。

主な内容は、継続費で衛生費の小山思いの森整備事業、土木費の飯田踏切改良事業、繰越明許費で総務費の渡良瀬遊水地の観光地化広域誘客推進事業、民生費の年金生活者等支援臨時福祉給金給付事業、農林水産業費の畜産クラスター事業、土木費の栗宮地区都市再生整備事業、思川西部土地区画整理事業、3・4・7 小山野木線(栗宮工区)道路整備事業、3・4・101 城東線道路改良事業、災害復旧費の思川緑地公園等災害復旧事業等である。

カ 予算の不用額

当年度の予算の不用額は 2,946,624 千円(前年度 2,942,947 千円)で、予備費不用額 30,000 千円を除くと、2,916,624 千円(前年度 2,921,903 千円)となっている。

不用額を前年度と比較すると 3,677 千円(0.1%)増加し、予算現額に占める割合は 4.4%(前年度 4.6%)である。

不用額が生じた理由は、他動的要因によるものや、予算の節減等であり、総体的に概ね適正なものと認められた。

## ② 款別執行状況

### 第1款 議会費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額    | 支出済額    | 不用額    | 執行率   | 構成比率 |
|------|---------|---------|--------|-------|------|
| 27年度 | 495,173 | 477,200 | 17,973 | 96.4  | 0.8  |
| 26年度 | 444,904 | 434,666 | 10,238 | 97.7  | 0.7  |
| 比較増減 | 50,269  | 42,534  | 7,735  | △ 1.3 | 0.1  |
| 増減比  | 11.3    | 9.8     | 75.6   | —     | —    |

支出済額は477,200千円で、歳出総額の0.8%を占め、予算現額495,173千円に対し96.4%の執行率で、不用額17,973千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して42,534千円(9.8%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、報酬等の人件費及び議会運営諸経費等である。

### 第2款 総務費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額    | 不用額     | 執行率   | 構成比率 |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-------|------|
| 27年度 | 8,290,378 | 7,207,820 | 159,849   | 922,709 | 86.9  | 11.7 |
| 26年度 | 6,838,327 | 6,059,366 | 397,613   | 381,348 | 88.6  | 10.4 |
| 比較増減 | 1,452,051 | 1,148,454 | △ 237,764 | 541,361 | △ 1.7 | 1.3  |
| 増減比  | 21.2      | 19.0      | △ 59.8    | 142.0   | —     | —    |

支出済額は7,207,820千円で、歳出総額の11.7%を占め、予算現額8,290,378千円に対し86.9%の執行率で、翌年度繰越額159,849千円、不用額922,709千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して1,148,454千円(19.0%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、総務管理費の一般管理費における市民交流施設関係費、財産管理費における庁舎維持管理費、企画調整費における小山評定ふるさと応援事業費、市全域ケーブルテレビ普及支援事業費及び社会保障・税番号制度システム整備費、災害対策費における災害廃棄物処理・消毒応急対策事業費、災害支援費における災害見舞金・被災者援助費等である。

なお、翌年度繰越事業は、総務管理費の自治体情報セキュリティ強化対策事業、渡良瀬遊水地の観光地化広域誘客推進事業、田んぼアート6次産業化事業、本場結城紬プロモーション事業、ツール・ド・とちぎ開催支援事業、戸籍住民基本台帳費の社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業である。

### 第3款 民生費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額       | 支出済額       | 翌年度繰越額  | 不用額     | 執行率   | 構成比率  |
|------|------------|------------|---------|---------|-------|-------|
| 27年度 | 19,399,746 | 18,517,980 | 449,060 | 432,706 | 95.5  | 30.1  |
| 26年度 | 18,177,629 | 17,578,770 | 194,703 | 404,156 | 96.7  | 30.2  |
| 比較増減 | 1,222,117  | 939,210    | 254,357 | 28,550  | △ 1.2 | △ 0.1 |
| 増減比  | 6.7        | 5.3        | 130.6   | 7.1     | —     | —     |

支出済額は18,517,980千円で、歳出総額の30.1%を占め、予算現額19,399,746千円に対し95.5%の執行率で、不用額432,706千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して939,210千円(5.3%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、社会福祉費の社会福祉総務費における国民健康保険特別会計への繰出金、老人福祉費における介護保険特別会計への繰出金、老人保健対策費における栃木県後期高齢者医療広域連合市町負担金、障がい者自立支援費における障がい者介護給付費、児童福祉費の児童福祉総務費における児童・遺児手当給付費、ひとり親家庭福祉費における児童扶養手当給付費、児童福祉施設費における民間保育所入所委託料及び保育所等施設整備費補助金、生活保護費の扶助費における生活保護費等である。

なお、翌年度繰越事業は、社会福祉費の年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業、児童福祉費の保育所等施設整備費補助金、子ども・子育て支援新制度支給認定等事業である。

#### 第4款 衛生費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額    | 不用額      | 執行率  | 構成比率  |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|------|-------|
| 27年度 | 5,946,055 | 5,736,134 | 72,588    | 137,333  | 96.5 | 9.3   |
| 26年度 | 6,582,720 | 6,114,060 | 252,122   | 216,538  | 92.9 | 10.5  |
| 比較増減 | △ 636,665 | △ 377,926 | △ 179,534 | △ 79,205 | 3.6  | △ 1.2 |
| 増減比  | △ 9.7     | △ 6.2     | △ 71.2    | △ 36.6   | —    | —     |

支出済額は5,736,134千円で、歳出総額の9.3%を占め、予算現額5,946,055千円に対し96.5%の執行率で、不用額137,333千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して377,926千円(6.2%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、保健衛生費の保健衛生総務費における小山広域保健衛生組合負担金、緑の健康づくりの森整備事業費、新小山市民病院建設事業交付金及び同病院運営費負担金、予防費における予防接種費、こども妊産婦医療対策費におけるこども医療費助成金、清掃費の清掃総務費におけるごみ収集運搬業務委託料等である。

なお、翌年度繰越事業は、保健衛生費の小山思いの森整備事業である。

#### 第5款 労働費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額    | 支出済額    | 不用額    | 執行率   | 構成比率 |
|------|---------|---------|--------|-------|------|
| 27年度 | 394,677 | 382,338 | 12,339 | 96.9  | 0.6  |
| 26年度 | 352,756 | 349,127 | 3,629  | 99.0  | 0.6  |
| 比較増減 | 41,921  | 33,211  | 8,710  | △ 2.1 | 0.0  |
| 増減比  | 11.9    | 9.5     | 240.0  | —     | —    |

支出済額は382,338千円で、歳出総額の0.6%を占め、予算現額394,677千円に対し96.9%の執行率で、不用額12,339千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して33,211千円(9.5%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、労働諸費の労働諸費における勤労者住宅資金支援事業、勤

労青少年ホーム費における施設管理費等である。

#### 第6款 農林水産業費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額    | 不用額       | 執行率  | 構成比率 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|------|
| 27年度 | 4,106,219 | 3,418,269 | 230,900   | 457,050   | 83.2 | 5.6  |
| 26年度 | 4,227,772 | 2,497,722 | 822,929   | 907,121   | 59.1 | 4.3  |
| 比較増減 | △ 121,553 | 920,547   | △ 592,029 | △ 450,071 | 24.1 | 1.3  |
| 増減比  | △ 2.9     | 36.9      | △ 71.9    | △ 49.6    | —    | —    |

支出済額は3,418,269千円で、歳出総額の5.6%を占め、予算現額4,106,219千円に対し83.2%の執行率で、翌年度繰越額230,900千円、不用額457,050千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して920,547千円(36.9%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、農業費の農業総務費における栃木県南公設地方卸売市場事務組合負担金及び農業災害対策事業費、畜産振興費における畜産競争力強化対策事業費、農地費における団体営土地改良事業費、農業用排水路施設整備事業費及び農業集落排水処理事業特別会計への繰出金等である。

なお、翌年度繰越事業は、農業費の畜産クラスター事業である。

#### 第7款 商工費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 不用額    | 執行率   | 構成比率 |
|------|-----------|-----------|--------|-------|------|
| 27年度 | 5,469,419 | 5,392,793 | 76,626 | 98.6  | 8.8  |
| 26年度 | 5,044,949 | 5,007,327 | 37,622 | 99.3  | 8.6  |
| 比較増減 | 424,470   | 385,466   | 39,004 | △ 0.7 | 0.2  |
| 増減比  | 8.4       | 7.7       | 103.7  | —     | —    |

支出済額は5,392,793千円で、歳出総額の8.8%を占め、予算現額5,469,419千円に対し98.6%の執行率で、不用額76,626千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して385,466千円(7.7%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、商工費の商業振興費における中小企業事業資金融資預託金、小山都市開発株式会社運営資金貸付事業費及びロブレビル利活用推進事業費、工業振興費における工業振興資金融資預託金、本場結城紬振興普及費に係る地場産業振興費、工業振興奨励拡大事業費及び工業開発推進事業費等である。

#### 第8款 土木費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額    | 不用額     | 執行率   | 構成比率  |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-------|-------|
| 27年度 | 8,294,871 | 6,825,072 | 1,065,406 | 404,393 | 82.3  | 11.1  |
| 26年度 | 7,862,661 | 6,859,042 | 644,373   | 359,246 | 87.2  | 11.8  |
| 比較増減 | 432,210   | △ 33,970  | 421,033   | 45,147  | △ 4.9 | △ 0.7 |
| 増減比  | 5.5       | △ 0.5     | 65.3      | 12.6    | —     | —     |

支出済額は6,825,072千円で、歳出総額の11.1%を占め、予算現額8,294,871千円に対し82.3%の執行率で、翌年度繰越額1,065,406千円、不用額404,393千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して33,970千円(0.5%)の減少となっている。

支出済額の主なものは、道路橋梁費の道路維持費における市道補修事業費、道路新設改良費における市道改良・整備事業費、都市計画費の都市計画総務費における羽川地区・間々田駅周辺地区・栗宮 緑の健康づくりの森周辺地区・雨ヶ谷地区都市再生整備事業費、土地区画整理費における思川西部土地区画整理事業費及び土地区画整理組合貸付事業費（小山東部第一土地区画整理組合・思川西部土地区画整理組合）、街路事業費における3・4・7小山野木線（平和・栗宮工区）道路整備事業費、3・4・101城東線道路改良事業費、公共下水道費における公共下水道事業特別会計への繰出金、公園費における公園管理事業費等である。

なお、翌年度繰越事業は、道路橋梁費の飯田踏切改良事業、市道201号線道路改良事業、橋梁長寿命化修繕事業、河川費の小山市防災広場整備事業、都市計画費の間々田駅周辺地区都市再生整備事業、栗宮地区都市再生整備事業、城山町二丁目第一地区市街地再開発事業、思川西部土地区画整理事業、3・4・7小山野木線（栗宮工区）道路整備事業、3・4・101城東線道路改良事業である。

#### 第9款 消防費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 不用額     | 執行率  | 構成比率 |
|------|-----------|-----------|---------|------|------|
| 27年度 | 2,497,732 | 2,445,954 | 51,778  | 97.9 | 4.0  |
| 26年度 | 2,096,594 | 2,027,559 | 69,035  | 96.7 | 3.5  |
| 比較増減 | 401,138   | 418,395   | △17,257 | 1.2  | 0.5  |
| 増減比  | 19.1      | 20.6      | △25.0   | —    | —    |

支出済額は2,445,954千円で、歳出総額の4.0%を占め、予算現額2,497,732千円に対し97.9%の執行率で、不用額51,778千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して418,395千円(20.6%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、消防費の非常備消防費における消防団活動に関する経費、消防施設費における消防車両整備費及び絹分遣所建設事業費等である。

#### 第10款 教育費

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額   | 不用額     | 執行率  | 構成比率 |
|------|-----------|-----------|----------|---------|------|------|
| 27年度 | 5,810,742 | 5,504,726 | 0        | 306,016 | 94.7 | 8.9  |
| 26年度 | 5,579,049 | 4,987,910 | 277,097  | 314,042 | 89.4 | 8.6  |
| 比較増減 | 231,693   | 516,816   | △277,097 | △8,026  | 5.3  | 0.3  |
| 増減比  | 4.2       | 10.4      | 皆減       | △2.6    | —    | —    |

支出済額は5,504,726千円で、歳出総額の8.9%を占め、予算現額5,810,742千円に対し94.7%の執行率で、不用額306,016千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して516,816千円(10.4%)の増加となっている。

支出済額の主なものは、教育総務費の教育振興費における幼稚園就園奨励費補助金、

小・中学校費の学校管理費における施設管理費及び教育用コンピューター整備事業費、学校建設費における城南地区新設小学校建設に伴う設計業務委託費及び大谷東小学校普通教室等増築事業費、社会教育費の教育文化振興費における祇園城跡整備事業費、保健体育費の小・中学校給食費における学校給食調理業務委託費、体育館施設費における市立体育館建設に伴う基本・実施設計業務委託費、体育館費における県南体育館及び県立温水プール館の管理運営費等である。

#### 第 11 款 災害復旧費

| (単位 千円・%) |              |         |         |             |      |      |
|-----------|--------------|---------|---------|-------------|------|------|
| 区 分       | 予算現額         | 支出済額    | 翌年度繰越額  | 不用額         | 執行率  | 構成比率 |
| 2 7 年 度   | 535,904      | 382,391 | 115,409 | 38,104      | 71.4 | 0.6  |
| 2 6 年 度   | 2            | 0       | 0       | 2           | 0.0  | 0.0  |
| 比 較 増 減   | 535,902      | 382,391 | 115,409 | 38,102      | 71.4 | 0.6  |
| 増 減 比     | 26,795,100.0 | 皆増      | 皆増      | 1,905,100.0 | —    | —    |

予算については、平成 2 7 年 9 月に発生した関東・東北豪雨災害への対応として 535, 902 千円の増額補正を行っている。

当年度の支出済額は 382, 391 千円で、歳出総額の 0. 6%を占め、予算現額 535, 904 千円に対し 71. 4%の執行率で、翌年度繰越額 115, 409 千円、不用額 38, 104 千円を生じている。

支出は 9 月の関東・東北豪雨によるものであり、支出済額の主なものは、公共土木施設災害復旧費における市道等災害復旧事業費、市営住宅災害復旧事業費及び公園施設災害復旧事業費、公立学校施設災害復旧費における羽川西小学校災害復旧事業費等である。

なお、翌年度繰越事業は、公共土木施設災害復旧費の思川緑地公園等災害復旧事業である。

#### 第 12 款 公債費

| (単位 千円・%) |             |             |           |      |       |
|-----------|-------------|-------------|-----------|------|-------|
| 区 分       | 予算現額        | 支出済額        | 不用額       | 執行率  | 構成比率  |
| 2 7 年 度   | 5,288,769   | 5,229,174   | 59,595    | 98.9 | 8.5   |
| 2 6 年 度   | 6,496,172   | 6,277,248   | 218,924   | 96.6 | 10.8  |
| 比 較 増 減   | △ 1,207,403 | △ 1,048,074 | △ 159,329 | 2.3  | △ 2.3 |
| 増 減 比     | △ 18.6      | △ 16.7      | △ 72.8    | —    | —     |

支出済額は 5, 229, 174 千円で、歳出総額の 8. 5%を占め、予算現額 5, 288, 769 千円に対し 98. 9%の執行率で、不用額 59, 595 千円を生じている。また、支出済額は前年度と比較して 1, 048, 074 千円(16. 7%)の減少となっている。

支出済額の内訳は、市債の償還元金 4, 688, 263 千円、償還利子 538, 760 千円、一時借入金及び一時借越金利子、基金繰替運用利子 2, 151 千円である。

なお、当年度末の市債未償還額は 50, 866, 135 千円で、前年度と比較すると 262, 637 千円(0. 5%)の増加である。

### 第13款 諸支出金

(単位 千円・%)

| 区 分  | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 | 構成比率 |
|------|------|------|-----|-----|------|
| 27年度 | 2    | 0    | 2   | 0.0 | 0.0  |
| 26年度 | 2    | 0    | 2   | 0.0 | 0.0  |
| 比較増減 | 0    | 0    | 0   | 0.0 | 0.0  |
| 増減比  | 0.0  | —    | 0.0 | —   | —    |

前年度と同様に支出はなかった。

### 第14款 予備費

予備費の充用については、前年度は3件、総額8,956千円であったが、当年度はなかった。